

図書館だより



伊丹市立荒牧中学校
2020年7月発行

6月22日より 昼休みを学年で分散して開館していますが、もう 慣れましたか？図書室に入ってくると すぐに手を洗ってくれる人が増えてうれしいです。読書貯金も配布していますので、読んだ本の記録も忘れずにとりましょう。

課題・すいせん図書は7月13日から一斉に貸出します。

すいせん図書



「アドリブ」 佐藤まどか

フルートとの電撃的な出会いから5年。天性の才能を認められ、難関の国立音楽院に入学したユージだが、クラシック音楽界の厳しさを目の当たりにし…。イタリア、トスカナの小さな町に暮らす少年の青春音楽小説。



「思いはいのり、言葉はつばさ」 まはら 三桃

これはね、女性だけが書く文字なんだ。中国・湖南省で文字を習うことのできなかった女性たちが、思いを伝えるために生み出し、伝承してきた「女書（ニューシュ）」をテーマにした物語。



「ゴースト」 ジェイソン・レノルズ

中学1年の主人公の少年は、父親のいない貧しい生活に引け目を感じ、周囲とも馴染めず距離を置いていた。逃げ足の速さから自分がつけた呼び名が「ゴースト」。ひょんなことから地元の陸上チームに入ることになり、それぞれ悩みを抱えるチームメイトや監督との関係を通して、自分の才能、弱さと向き合っていく成長の物語。



「しずかな魔女」 市川 朔久子

「しずかな子は魔女に向いている」という文章の出てくる本を探しています。不登校の草子は毎日過ごす図書館で、はじめてレファレンスを希望した。やがて司書の深津さんから手渡されたものは・・・。



「スアレス一家は、今日もにぎやか」 メグ・メディナ

名門私立校に編入したメルシ。クラスメイトはリッチな子ばかりで、うまくやっていくだけでも大変なのに、おじいちゃんがアルツハイマー病になってしまい…。フロリダ発、あったかいけどちょっとビターな家族の物語。



「スベらない同盟」 にかいどう 青

「ひらめいた！ おまえ、漫才の台本書けよ」 学校で不動の人気を誇るレオがいじめられている藍上とコンビで漫才をする。これで全て解決、のはずだったのに…。学校という閉じた特別な空気を描く、切なくさわやかな YA 小説。



「その声は、長い旅をした」 中澤 晶子

四番町少年合唱団の第一ソプラノ・開は、謎めいた新入団員・翔平の声に衝撃を受ける。彼がライバルになることを強く意識する開。やがて、距離を縮めるふたりに、つぎつぎと思いがけないできごとが…。



「蝶の羽ばたき、その先へ」 森埜 こみち

突発性難聴で左耳が聞こえなくなった中学2年生の結。だが、そのことを親友にも打ち明けられずにいた。悶々とする日々のなか、両耳の聞こえない今日子さんや手話サークルと出会い、新しい一歩を踏み出していく…。



「天を掃け」 黒川 裕子

必要なら、何百夜かけてでも全天を搜索する。それが掃天-。短距離走者として期待されながらも、走れなくなった駿馬は、中学2年生の初夏、たったひとりで小惑星探索にいどむすばると出会う。駿馬はすばるを天文部に誘うが…。